

受験番号 で囲んだ枠内は、
大学認定欄のため記入しないでください。

家 庭 調 査 書

学籍番号 氏名 氏名 (歳)

氏名	年齢	4月1日現在の勤務先①		①の開始年月		給与収入の計 (千円)	給与収入 以外の 所得計 (千円)
		氏名	年齢	②の開始年月	②の開始年月		
続柄	年齢						
本人	学生			年 月 から	年 月 から	3	4
父	歳			年 月 から	年 月 から	5	6
母	歳			年 月 から	年 月 から	7	8
就学者	歳			年 月 から	年 月 から	9	10
除く	歳			年 月 から	年 月 から	11	12
家族	歳			年 月 から	年 月 から	13	14
	歳			年 月 から	年 月 から	15	16

家計支持者	給与収入				給与収入以外の所得				計	
	給与 (パート含) (千円)	年金・ 手当 (千円)	失業給付金 生活扶助費 (千円)	その他 (千円)	事業 (千円)	農業 (千円)	不動産 (千円)	利子・雑 配当 (千円)		親戚等 の援助 (千円)
本人										
父										
母										

※印欄は、該当するものを○で囲んでください。

本人	通学区分	学部・研究科		入学年月		受給年額 (千円)
		学部	研究科	平成29年4月入学	通学 区分	
続柄	氏名	設置 区分	学校区分	学年	前年度状況	
就学	※23 0: 自宅 1: 自宅外	※26 0: 国立 1: 公立 2: 私立	※27 0: 小学校 1: 中学校 2: 高等学校 3: 大学 4: 専修学校 (高等課程) 5: 専修学校 (高等課程) 6: 専修学校 (専門課程)	※28 0: 自宅 1: 自宅外 年1: 自宅外	前期 コード 29	30
就学	※32 0: 国立 1: 公立 2: 私立	※33 0: 小学校 1: 中学校 2: 高等学校 3: 大学 4: 専修学校 (高等課程) 5: 専修学校 (高等課程) 6: 専修学校 (専門課程)	※34 0: 自宅 1: 自宅外 年1: 自宅外	35	36	37
就学	※38 0: 国立 1: 公立 2: 私立	※39 0: 小学校 1: 中学校 2: 高等学校 3: 大学 4: 専修学校 (高等課程) 5: 専修学校 (高等課程) 6: 専修学校 (専門課程)	※40 0: 自宅 1: 自宅外 年1: 自宅外	41	42	43
就学	※44 0: 国立 1: 公立 2: 私立	※45 0: 小学校 1: 中学校 2: 高等学校 3: 大学 4: 専修学校 (高等課程) 5: 専修学校 (高等課程) 6: 専修学校 (専門課程)	※46 0: 自宅 1: 自宅外 年1: 自宅外	47	48	49
就学	※50 0: 国立 1: 公立 2: 私立	※51 0: 小学校 1: 中学校 2: 高等学校 3: 大学 4: 専修学校 (高等課程) 5: 専修学校 (高等課程) 6: 専修学校 (専門課程)	※52 0: 自宅 1: 自宅外 年1: 自宅外	53	54	55
特別	母子・父子世帯	※母無 死別・生別 (年 月) ※父無 死別・生別 (年 月)	86	0: 非該当 1: 該当	87	
除	障害者のいる世帯	続柄 () 手帳番号 () 続柄 () 手帳番号 ()	合計 (年額) (千円)		88	
除	長期療養者のいる世帯	続柄 () 療養期間 年 月 から ※入院・退院・自宅療養 1か月当たり療養費 (千円) 続柄 () 療養期間 年 月 から ※入院・退院・自宅療養 1か月当たり療養費 (千円)	89		90	
除	学資負担者の別居	1か月当たりの住居・光熱水費 (千円)	91		91	
除	風水害等の災害	被害内容 (被害額 千円)	92		92	
除	多子世帯		93		93	
大学	家族数	居住地	独立生計者	生活保護世帯	94	95
認定	人	A	0: 非該当 1: 該当	0: 非該当 1: 該当	96	1: 適格 2: 不適格
認定	選考区分		申請区分		97	01: 一般 02: 家計 03: 学力 04: 事由 05: 学資負担者死亡 06: 災害 07: その他
認定	20:N 21:O 22:M				99	辞退

記入要領

※ここに記載した「収入状況」については、それを証明する書類が必要です。証明がなければ、事実として認定することができず、書類不備として取り扱うことになります。

学籍番号の欄は空白にしてください。

で囲んだ枠内は、大学認定欄のため記入しないでください。

家庭調書

学籍番号	2	氏名	カガワ イチロウ 香川 一郎 (20歳)
------	---	----	--------------------------------

「平成29年4月1日現在」の状況(見込みを含む)を記入する。

世帯構成員は、以下の者です。
 ①申請者(独立生計者、私費外国人留学生は配偶者を含む)
 ②家計支持者(原則、父母両方。母子父子家庭の場合は父または母)
 ③家計支持者(または申請者)の扶養下にある者

配偶者がいる場合は、父又は母の欄を「妻(夫)」と修正すること。

※家計支持者の扶養下にある専修学校(一般課程)及び各種学校(予備校、職業訓練校、防衛大学校他)に在学している者は、就学者とみなさないで、「就学者を除く家族」欄に記入する。

続柄	氏名		4月1日現在の勤務先①	①の開始年月	給与収入の計 (千円)	給与収入以外の所得計 (千円)
	4月1日現在の職業	年齢	4月1日現在の勤務先②	②の開始年月		
本人	香川 一郎			年 月 から	3	4
	学生	20歳		年 月 から		
父	香川 太郎		〇〇商店(自営業)	昭和58年8月から	5	6
	自営業	50歳	□□ストア(アルバイト)	平成27年9月から		
母	香川 花子		〇〇コンビニ(パート)	平成24年9月から	7	8
	パート	48歳	△△マート(パート) □□クリーニング(パート)	平成26年5月から 平成25年9月から		
妹	香川 夏子			年 月 から	9	10
	予備校	18歳		年 月 から		
祖父	高松 高男			年 月 から	11	12
	無職	83歳		年 月 から		
祖母	高松 松子			年 月 から	13	14
	無職	80歳		年 月 から		
				年 月 から	15	16

二重線の枠内は「大学認定欄」のため、記入しないこと。

勤務先が3社以上の場合、2行に分けるか別紙にてそれぞれの勤務先名、勤務開始時期を説明すること。

「現在の職業」欄は家計支持者以外の職業についても会社員・自営業・教員・公務員など具体的に記載すること(主婦・家事手伝い・無職等も必ず記載する)。

「収入状況」について
 家計支持者の平成28年分(1月~12月)の所得を記入する。
 ただし、平成28年1月2日以降に転職・就職した場合は、年間の所得見込額を「給与等月額証明書」(様式2)により記入する。

家計支持者	(収入状況)				計	給与収入以外の所得						計	
	給与収入					計	事業	農業	不動産	利子・配当	雑(内職、その他)		親戚等の援助
	給与(パート含) (千円)	年金・手当 (千円)	失業給付金生活扶助費 (千円)	その他 (千円)									
本人													
父	900				900	3800						3800	
母	1500				1500								

家計支持者の扶養下にある者については記入不要。

・金額は必ず証明書等(源泉徴収票、確定申告書、給与等月額証明書、等)に基づく金額(千円未満切捨)を記入する。
《記載例》
 ○「給与」欄: 源泉徴収票の支払金額、確定申告書の収入金額等の給与欄、給与等月額証明書等
 ○「事業」欄: 確定申告書の事業所得金額
 ○「農業」欄: 確定申告書の農業所得金額

※収入(所得)のない方については、収入状況に記載不要
 ※記載金額が分からない場合は空欄で結構です。

記入要領

※ここに記載した「就学者」「特別控除」については、それを証明する書類が必要です。証明がなければ、事実として認定することができず、書類不備として取り扱うこととなります。

※印欄は、該当するものを○で囲んでください。

就学者	本人	通学区分 ※23 0: 自宅 1: 自宅外	学部・研究科 教育	入学年月 平成29年4月入学	受給年額 (千円) 25
	続柄	氏名 香川 春子	4月現在の在学学校 設置区分 ※26 0: 国立 1: 公立 2: 私立		通学区分 ※28 0: 自宅 1: 自宅外
	姉	放送大学	学校区分 ※27 0: 小学校 1: 中学校 2: 高校 3: 大学 4: 高専 5: 専修学校 (高等課程) 6: 専修学校 (専門課程)	学年 3年	前年度状況 前期コード 29 後期コード 30 年額コード 31
	弟	香川 次朗	※32 0: 国立 1: 公立 2: 私立	※33 0: 小学校 1: 中学校 2: 高校 3: 大学 4: 高専 5: 専修学校 (高等課程) 6: 専修学校 (専門課程)	※34 0: 自宅 1: 自宅外
	〇〇中学校	1年	※38 0: 国立 1: 公立 2: 私立	※39 0: 小学校 1: 中学校 2: 高校 3: 大学 4: 高専 5: 専修学校 (高等課程) 6: 専修学校 (専門課程)	※40 0: 自宅 1: 自宅外
者		※44 0: 国立 1: 公立 2: 私立	※45 0: 小学校 1: 中学校 2: 高校 3: 大学 4: 高専 5: 専修学校 (高等課程) 6: 専修学校 (専門課程)	※46 0: 自宅 1: 自宅外	
		※50 0: 国立 1: 公立 2: 私立	※51 0: 小学校 1: 中学校 2: 高校 3: 大学 4: 高専 5: 専修学校 (高等課程) 6: 専修学校 (専門課程)	※52 0: 自宅 1: 自宅外	47 48 49 0: 0: 1: 1: 2: 2:
特別控除	母子・父子世帯	※母無 死別・生別 (年 月) ※父無 死別・生別 (年 月)		86 0: 非該当 1: 該当	
	障害者のいる世帯	続柄 (弟) 手帳番号 (12345678) 続柄 () 手帳番号 ()		87	
	長期療養者のいる世帯	続柄 (祖父) 療養期間平成25年 9月から ※入院・退院・自宅療養 1か月当たり療養費 (50千円) 続柄 () 療養期間 年 月から ※入院・退院・自宅療養 1か月当たり療養費 (千円)		合計 (年額) (千円) 88	
	学資負担者の別居	1か月当たりの住居・光熱水費 (千円)		89	
	風水害等の災害	被害内容 (被害額 千円)		90	
多子世帯			91		
大学認定	家族数	居住地	独立生計者	生活保護世帯	学力
	92	93 A	94 0: 非該当 1: 該当	95 0: 非該当 1: 該当	96 1: 適格 2: 不適格
	97 20: N 21: 0 22: M	98 01: 一般 04: 事由 06: 災害	99 申請区分 02: 家計 03: 学力 05: 学資負担者死亡 07: その他		99 辞退

就学者(本人)

- 通学区分: 該当する番号を○で囲む。
※私費外国人留学生は「自宅」を選択
- 学部・研究科: 入学する学部・研究科名を記入。
- 入学年月: 次回以降の申請時は各自で記入。

就学者(兄弟・姉妹等)

- 「在学学校」欄は該当する番号を○で囲み、学年は平成29年4月1日現在の学年を記入。「設置区分」「学校区分」「通学区分」の該当する番号に必ず○をする。

- ※就学者とは、次の①②に在学している者をいう。
①小、中、高、高専、大学(大学院、専攻科、別科を含む。放送大学については、全科履修生、特科生に限る。)、特別支援(盲・ろう・養護)学校
②専修学校(高等課程、専門課程)

○特別控除について

必要事項を記入のうえ、証明書類を提出すること。

父又は母が死亡、生別の場合は、この欄に記入する。死別・生別の時期も記入する。

障害者手帳の番号を記入する。

長期療養者とは、診断書により、申請時現在療養中であり、6ヶ月以上の療養期間を要する者で、最近1年間の医療費自己負担額が10万円以上の者をいう。

平成28年4月からの1年間の療養費を領収書等により合計(様式6)して、1ヶ月あたりの療養費を記入する。

子(就学者、就学前の子、申込者本人を含む。)が2人を超える世帯は、その人数。

平成28年4月以降に火災・風水害等により被害を受けたために、支出が増大したり収入が減少して、著しく経済的困窮におかれている場合のみ適用。
単に被害額や復旧費をそのまま控除するものではない。

学資負担者が単身赴任で別居のために特別に支出している住居費及び光熱水費の実費を、平成28年4月からの1年分を領収書等により合計。会社負担があるときは、その分を引いて、1ヶ月あたりの費用を記入する(様式7)。